

ご存じですか？

# 飼い主のいない猫との共生活動 (地域ねこ活動)



現在、福岡市には猫に関する様々な苦情や相談が寄せられていますが、そのほとんどが、野良猫が庭に糞をするので困っている、野良猫に無責任に餌付けする人がいるため野良猫が増えている等飼い主のいない猫に関するものです。

また、福岡市内では1年間に約7000頭もの猫の死体が路上で回収されており、そのほとんどが地域に生み捨てられた飼い主のいない子猫です。

このような状況を解決するために生まれたのが、飼い主のいない猫との共生活動（地域ねこ活動）なのです。

## 「地域ねこ活動」って何？



周辺住民の理解を得た上で、ボランティアグループなどが、屋外で生活する飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を施し、トイレや餌やりの時間を決めて世話をするなど、一定のルールに従い、猫を一代限りで飼育管理することで問題解決を図っていく活動です。

おなかをすかせて  
かわいそう…



無責任にエサを与えると、  
ねこが集まって近所迷惑  
になることがあります。



特定の飼い主のいないねこが  
生活するためには、地域の  
理解が必要です。  
福岡市では、地域の  
実情にあったルール  
作りを支援します。



## 「地域ねこ活動」のルール

**周辺住民の理解**を得る。

**不妊・去勢手術**をする。

**トイレの適切な管理**をする。

**エサの適切な管理**をする。



室内飼いで飼育してもらえ  
新しい飼い主をさがす努力をする。

置きエサはダメ！



猫による迷惑防止策について  
周辺住民に情報提供をする。



猫が苦手な方がいることも  
忘れずに…

福岡市からは、専門的な問題への助言・資料提供、講習会等への講師派遣、不妊・去勢手術の実施について支援を行っています。支援に際しては、地域の指定が必要となりますので、詳しくはお問合せください。



### 問い合わせ先

家庭動物啓発センター  
〒819-0005 福岡市西区内浜1-4-22  
TEL : 092-891-1231 FAX : 092-891-1259  
<https://www.wannyan.city.fukuoka.lg.jp/>

ほくたちが嫌われものになら  
ないためにも、周辺地域の  
方々の理解は不可欠だね。



# 地域ねこ活動事例（福岡市）

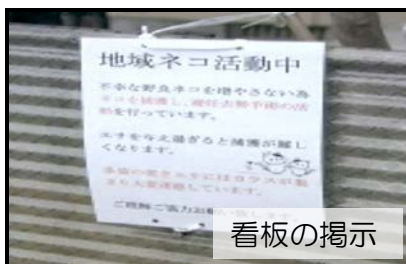
## 【城南区】

経緯：川沿いの遊歩道に散歩者が餌を置いていくため、野良猫が増えた。  
餌を目当てにカラスも多く集まった。

活動者：糞尿被害を受けた住民

活動内容：野良猫の不妊去勢手術の実施、回覧板の活用  
散歩者への啓発（猫に餌を与えないようお願いする看板の掲示）

成果：15頭の猫の手術を実施後、生まれた子猫はゼロ  
置き餌の減少→カラスの減少



## 【中央区】

経緯：マンションの敷地内で住民が餌を与え、野良猫が増えた。  
近隣住民の糞尿被害が増えたことから、住民間でのトラブルに発展。

活動者：糞尿被害を受けた住民

活動内容：野良猫の不妊去勢手術の実施、地域ねこ用トイレの設置、住民への啓発（野良猫への餌やりなど管理に関するルールづくり、掲示板の活用）

成果：17頭の猫の手術を実施後、生まれた子猫はゼロ。糞尿被害の減少



## 【西区】

経緯：認知症の老人が餌やりを繰り返し、野良猫の頭数が30頭近くに増えた。周辺住民は糞尿被害に困り、苦情も多く発生。

活動者：野良猫の子猫を保護した近隣住民

活動内容：野良猫の不妊去勢手術の実施、住民間トラブルの仲裁、住民への啓発（野良猫への餌やりなど管理に関するルールづくり、回覧板の活用）

成果：76頭の猫の手術を実施後、生まれた子猫はゼロ。近隣住民の対立の緩和

